

だいらんいん もくぞうてん ぶりゅうぞう  
大輪院の木造天部立像



△木造天部立像

本像は四天王のうち増長天（南）と考えられる。甲冑を付け、一面二手の武人像である。四天王は鬼座であるが、本像は岩座である。口を開き、目を大きく開けた忿怒相である。

本像から大輪院の歴史、歴代城主の祈願所であってことを伺わせる貴重な作例であり、文化財に相応しい。